

正誤表（現況分析（教育））

14：福島大学

No.	現況分析単位 (学部・研究科等)	頁数	誤	正	修正事由
01	01_人文社会学群	p.1-2	経済経営学類は、経営と経営の専門知識を身につけ、	経済経営学類は、 <u>経済</u> と経営の専門知識を身につけ、	誤字があったため
02	01_人文社会学群	p.1-11	平成 27 年度の 87.2%から平成 30 年度の 88.6%へと上昇している (別添資料 1401-iiA-5)。	平成 27 年度の 87.2%から平成 30 年度の 88.6%へと上昇している (別添資料 1401-iiA-5) <u>(再掲)</u> 。	再掲資料のため
03	02_理工学群	p.2-2	本学群共生システム理工学類の教育目的は、福島大学共生システム理工学類規程において以下のように示されている。 「 <u>本学類は、人—産業—環境</u> に関わる課題を共生のシステム科学の視点で学び、自ら課題を発見し解決できる能力と文理融合型の思考力を有し、個性に応じた実践型キャリアを身に付けた人材を養成する <u>ことを目的とする。</u> 」	本学群共生システム理工学類の教育目的は、福島大学 <u>学群規則</u> において以下のように示されている。 「人—産業—環境に関わる課題を共生のシステム科学の視点で学び、自ら課題を発見し解決できる能力と文理融合型の思考力を有し、個性に応じた実践型キャリアを身に付けた人材を養成する。」	引用規程の誤りがあったため
04	03_農学群	p.3-3	本学食農学類のディプロマ・ポリシー（DP）は実践性を重んじており、	本学 <u>群</u> 食農学類のディプロマ・ポリシー（DP）は実践性を重んじており、	脱字があったため
05	04_人間発達文化研究科	p.4-6	本学では、各学類の FD 研究会等で	本学では、各 <u>研究科</u> の FD 研究会等	誤字があったため

正誤表（現況分析（教育））

			活用することを目的として、	で活用することを目的として、	
06	05_人間発達文化研究科 教職実践専攻	p.5-3	「共通5領域」では「 <u>福島の学校と教育課題I・II</u> 」を必修とし、	「共通5領域」では「福島の学校と教育課題I・II」を必修とし、	衍字があったため
07	05_人間発達文化研究科 教職実践専攻	p.5-4	火・木・金曜日は実習校で学べるような体制にしている。	火・ <u>水</u> ・金曜日は実習校で学べるような体制にしている。	誤字があったため
08	05_人間発達文化研究科 教職実践専攻	p.5-5	本学では、各学類のFD研究会等で活用することを目的として、	本学では、各 <u>研究科</u> のFD研究会等で活用することを目的として、	誤字があったため
09	06_地域政策科学研究科	p.6-4	履修分野を超えて重点的に学ぶ「政策課題プログラム」	履修分野を <u>越</u> えて重点的に学ぶ「政策課題プログラム」	誤字があったため
10	06_地域政策科学研究科	p.6-5	本学では、各学類のFD研究会等で活用することを目的として、	本学では、各 <u>研究科</u> のFD研究会等で活用することを目的として、	誤字があったため
11	07_経済学研究科	p.7-5	本学では、各学類のFD研究会等で活用することを目的として、	本学では、各 <u>研究科</u> のFD研究会等で活用することを目的として、	誤字があったため
12	08_共生システム理工学 研究科	p.8-2	実践的な力を有する専門職業人の育成を目指している。	実践的な力を有する専門職業人の育成に <u>繋げる</u> ことを目指している。	脱字があったため
13	08_共生システム理工学 研究科	p.8-4	本学では、各学類のFD研究会等で活用することを目的として、	本学では、各 <u>研究科</u> のFD研究会等で活用することを目的として、	誤字があったため
14	08_共生システム理工学 研究科	p.8-6	県内のエネルギー産業会のレベル向上に貢献している。	県内のエネルギー産業 <u>界</u> のレベル向上に貢献している。	誤字があったため